

# ウィルマー・インターナショナル

## パームオイル利用を推進する政府方針や TPP 進展が注目される

### シンガポール | 農業 | 業績レビュー

BLOOMBERG WIL:SP | REUTERS WLIL.SI

- 2015/1Q(1-3月)は売上高が前年同期比 8.3%減の 94.11 億 USD となったが、純利益が同 49.1%増の 2.41 億 USD となった。
- 油糧種子・穀物事業（油糧種子、穀物および消費関連商品の生産・加工）が大幅に増益、主力のトロピカルオイル事業（パームの栽培とパームオイルの精製事業）や製糖事業の減益を補った。
- 2015/12 通期の市場予想は売上高が前期比 9.0%増の 469.72 億 USD、純利益が同 10.5%増の 12.77 億 USD である。

#### What is the news?

2015/1Q は売上高が前年同期比 8.3%減の 94.11 億 USD、主力のトロピカルオイル事業の販売量減少や関連製品の価格低下が響いた。また、2事業が大幅減益：①パーム果実産量の減少や市場価格の低下を背景に主力のトロピカルオイル事業の税引き前利益は同 44%減の 1.52 億 USD。②インドネシア製糖工場の修繕工事が影響し砂糖の生産と取引などが低迷、製糖事業の税引き前利益は前年同期の▲5,404.9 万 USD から▲6,802.2 万 USD と赤字が拡大した。ただ、油糧種子・穀物事業の税引き前利益が同 12.2 倍の 1.66 億 USD と大幅増益。消費関連商品の販売増と原料コスト低減が寄与した。この結果、税引き前利益は同 50.6%増の 3.09 億 USD、純利益が同 49.1%増の 2.41 億 USD となった。EPS は 3.8USD と前年同期に比べて 1.3USD 増加した。

7/7 のオーストラリア政府気象局の発表によれば近い将来、エルニーニョ現象が活発化することを予想しており、インドネシアの大半の諸島で高温、少雨の天候が増えると見込まれている。このため、パーム果実の産量が減少すると予想される一方、パームオイルおよび関連製品の価格が大幅に上昇する可能性も想定され、同社収益への影響が注視される。

#### How do we view this?

7/16 にインドネシア政府はバイオディーゼルの混合率を 10%から 15%へ引き上げる予定で、バイオディーゼル需要を押し上げることが見込まれる。同政府は、今後は段階的に混合比率を引き上げる計画で最終的には 20%とする方針。このため、パームオイルの生産量拡大が見込まれ、同社のインドネシアでのパーム栽培やパームオイル精製事業の動向が注目される。また、TPP 交渉が合意となれば、将来的には加盟国であるシンガポールから海外への農産物輸出拡大が期待され、関連企業にとってチャンスが広がる可能性もあり同社の業績動向にも注目したい。

#### 業績推移

※参考レート 1USD=123.88円, 1SGD=90.63円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万USD)	45,463	44,085	43,085	46,972	51,001
純利益(百万USD)	1,255	1,319	1,156	1,277	1,438
EPS(USD)	0.20	0.21	0.18	0.20	0.22
PER(倍)	12.21	11.62	13.22	11.97	10.88
BPS(USD)	2.24	2.34	2.42	2.58	2.74
PBR(倍)	1.07	1.02	0.99	0.93	0.87
配当(SGD)	0.04	0.04	0.06	0.07	0.07
配当利回り(%)	1.22	1.22	1.83	2.14	2.14

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

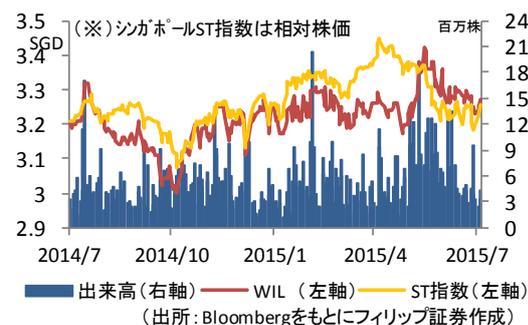
配当予想 (SGD) 0.07 (予想はBloomberg)  
終値 (SGD) 3.27 2015/7/15

#### 会社概要

1991年に設立したシンガポールの大手アグリビジネス企業。油ヤシの栽培、食用油精製、油糧種子粉碎、砂糖製粉・精製、特殊油脂・油脂化学・バイオディーゼル・化学肥料の製造、穀物加工・販売を主に展開。輸送用に液体貨物船も保有している。また、世界50以上の国・地域で450拠点の生産工場を展開している。

#### 企業データ(2015/7/15)

ベータ値	0.82
時価総額(百万SGD)	20,913
企業価値(百万SGD)	25,720
3か月平均売買代金(百万SGD)	19.18



#### 主要株主(2015/7)

株主	(%)
1. Archer-Daniels-Midland CO	18.09
2. Khoo Hong Kuok	11.98
3. Longlin Asia Limited	5.25

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### 袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

#### 庵原浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。